



ディーゼル駆動消火ポンプ燃料移送系の他設備への悪影響について

ディーゼル駆動消火ポンプは、タービン建屋(耐震Bクラス)に設置されていることから、燃料配管やサービスタンの損傷によるDB設備及びSA設備への燃料補給に対する悪影響について確認した。

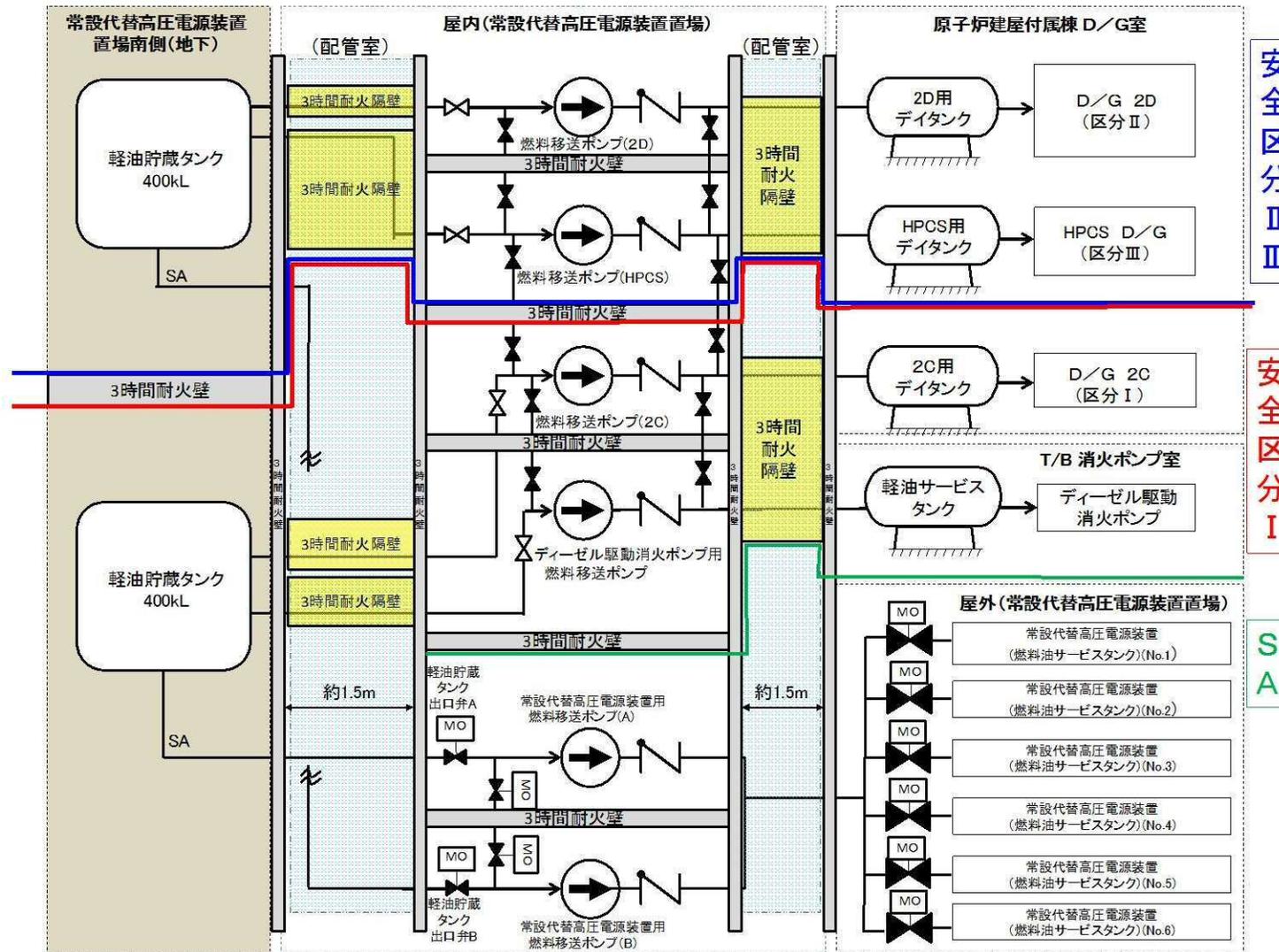


図1 ディーゼル駆動消火ポンプの燃料移送系統概略図
第521回審査会合(2017.10.19)資料1-1-1 火災による損傷防止資料より

ディーゼル駆動消火ポンプ燃料移送系の他設備への悪影響について

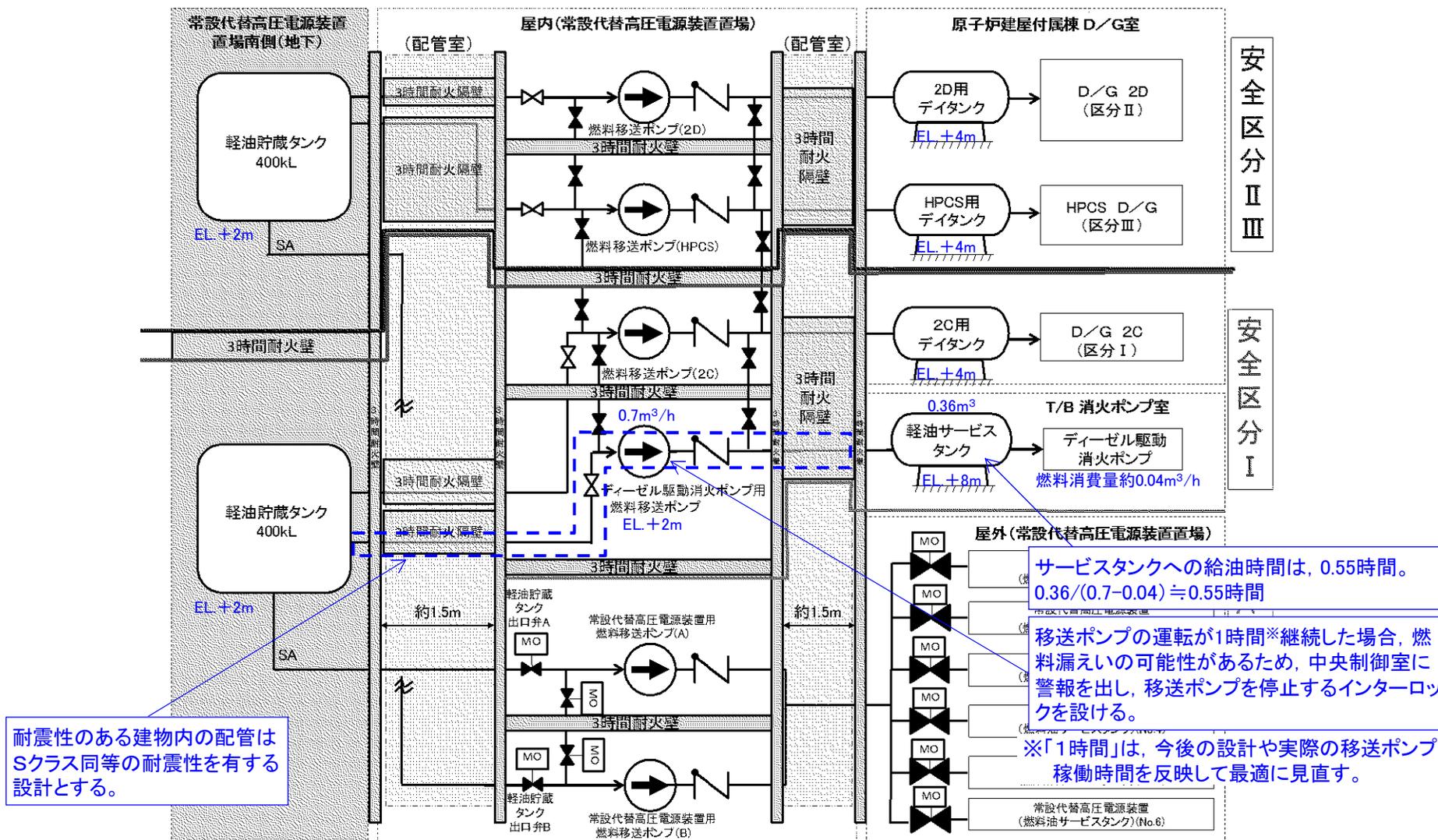


図1 ディーゼル駆動消火ポンプの燃料移送系統概略図

第521回審査会合(2017.10.19)資料1-1-1 火災による損傷防止資料より(一部加筆)

移送ポンプ停止までに0.7m³ (0.7kL)の燃料を浪費する可能性があるが、軽油貯蔵タンク400kLと比較して無視できる量であり、DB設備及びSA設備への燃料補給に対する悪影響はない。